

来年3月2日告示／3月7日投開票

現職内藤氏絶対優勢！

朝日地区過半数獲得が勝利条件

来年3月2日告示、同7日投開票の越前町長選。すでに、現職の内藤俊三氏（73歳）と前町会議員の青柳良彦氏（61歳）が正式に出馬表明していて前回に続き、現職と新人の一騎打ちの戦いとなる。

内藤町長は9月の定例町議

会において「いま一度初心に立ち返り、これまでの経験を最大限に生かしながら三たび町政を担ってまいりたい」と意欲を示し、「子どもたちの笑顔を主題に据えた政策や事業を行っていききたい。道路の整備や防災、新型コロナウイルス

ス対策など全ての事業は、子どもたちのためになる」と述べた。

内藤町長は2期8年にわたり北陸新幹線敦賀開業を転換期と捉え、本町への誘客動線となる道路網の整備、特に国道365号や国道305号の



内藤俊三氏



青柳良彦氏

改良整備や移動手段となる交通網の整備に力を入れる。一方、2期目は町内小中学校等の給食約2千食を最新の設備で一括調理し、配食する町学校給食センターや役場本庁舎を完成させ、アメリカアラバマ州モンテバロ市との姉妹都市交流覚書を更新、今後10年間にわたり文化交流を継続し友好を深めるなど、「快適居住」「人材育成」「仕事応援」「観光交流」を施策の柱として事業に着実に取り組んできた。

「越前焼」が日本六古窯のひとつとして日本遺産に認定されるなど、さらに「越前ブランド」を磨き育みながら、町民がふるさと越前町に誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思える、魅力あるまちづくりを進めている。

一方、前町議の青柳氏は10月になって「今ほど少子高齢化や人口減少、地域の疲弊に危機感を感じたことはない。ここで大きくかじを切らない